

令和元年 7月 3日

ふくしまにぎわいらボ「プログラミング」学習会

これまで、福島大学附属小学校の生徒を中心として、地域の祭りへの参加、地域の方々からの学び、そしてデータを基にして地域の課題について学びを深めてまいりました。4月から中学生となり、いよいよ福島市の課題を解決するために自分たちができることとして、福島市のために役立つアプリの開発を始めることとなりました。その第一歩としてプログラミング学習会を実施いたします。

本イベントを企画運営する(本イベントチラシの作成もしました)福島大学附属中学校の生徒は、附属小学校5年生の時に内閣府主催の「地方創生政策アイデアコンテスト 2017」高校生以下の部にて地方創生担当大臣賞を受賞したメンバーが中心となっており、地域の魅力に触れるべく「祭り」への参加、地域の大人と一緒に「福島市らしさ」を考えるワークショップ開催、そしてデータを基にして地域の課題についても考えてまいりました。

そしてこの度、これまでの活動で学んだことを基に、自分たちができることとして、地方創生政策アイデアコンテスト 2017 で提案した「福島市のために役立つアプリの開発」を始めることとなりました(下記コンテストのページから動画をご覧ください)。

これまでも、地域の様々な立場の方との交流の場が欲しいというアイデアについても、福島市の市民協働課様からお声がけいただいたことによって、「まちなか交流スペース」協議会のメンバーに入れていただき、オープニングイベントでの「福島市らしさ」を考えるワークショップを実施することができました。

本イベントは「プログラミング」を学ぶことが目的ではなく、「プログラミング」を自分たちで学び合い、大人も含めた仲間を募集し、福島市の課題を解決するアプリの開発に繋げていきます。次回以降、福島の魅力伝える YouTube 動画作成なども検討しております。

【地方創生政策アイデアコンテスト 2017】

<https://contest.resas-portal.go.jp/2017/>

(お問い合わせ先)

福島大学地方創生イノベーションスクール 2030

福島クラスター事務局 (七島)

電話：080-3144-5397

メール：info@fukushimauniv.onmicrosoft.com

参加費**無料**！ ふくしまにぎわいラボ企画

ゲームで
遊びながら

「プログラミング」

について一緒に学んでみませんか？

7/6(土)

10:00~12:00

まちなか交流スペース

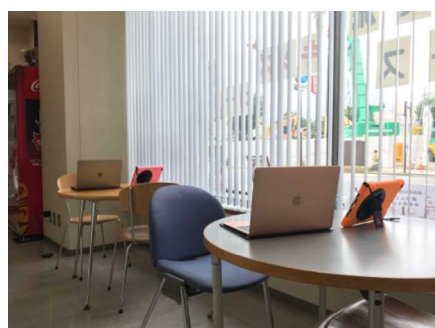
(まちなか広場向かい)

小学生から大人の方まで興味のある方は、どなたでも参加できます！

私たちは、これまでに、地域のお祭りに参加させていただいたり、地域の大人の方と一緒に、「**福島市らしさ**」について話し合ったり、**地域の「課題」**についてもデータに基づいて考えてきました。

ここから先は、その「課題」を解決するために、何か私たちにできることを考え、一步ふみだしてみようと思います。

その一つとして、地域の課題を解決する「**アプリ**」などの企画と開発を本格的に始める予定です。(福島市の魅力を伝える**新しい形**のパンフレットも考えています)



何台かのパソコンやiPadをお借りすることができましたので、当日は何も持たずに手ぶらで参加していただければと思います。ご自分のパソコンやタブレットをお持ちいただいても構いません。気軽にご参加ください。

特に講師の方も呼びしていませんので、自分たちで**自由に学び合う**形で進めます。

iPadでは、iPhoneやiPadのアプリを作るための**Swift**というプログラムを、ゲームをしながら学ぶ**Swift Playgrounds**というiPad用の無料のアプリや小学生でも理解しやすい**スクラッチ (Scratch)**を使う予定です。その他**VR**カメラも準備する予定です。

今後も定期的に開催して、**YouTube**動画編集なども予定しています。



ふくしまにぎわいラボ (福島大学地方創生イノベーションスクール 2030 福島市中学生チーム)

福島大学附属中学校 1年 チーム代表 七島 海希 (ななしま みき)

お問い合わせ先：福島大学地方創生イノベーションスクール 2030 事務局

メール：info@fukushimauniv.onmicrosoft.com 電話：080-3144-5397